

植物多様性センターの「ツバキとサザンカ」

よく似て一目で区別が付きにくい植物ですが、よく観察してみると違いが判ります。ツバキ(以下㊦)は花期が12月～4月、サザンカ(以下㊧)は10月～12月。また花後の㊦は基部が合着した花弁と雄蕊が普通一緒に落ち、㊧は花弁もほぼ離生し雄蕊とは別に落ちます。

花が無い時期は葉で見分けます。㊦も㊧も品種が多く、しかも交雑するので全てがこの通りではありませんが典型的には以下です。葉は形がそっくりですが大きさが違い㊦は長さ5～10cm、㊧は3～7cmと㊧の方が小ぶりです。その他に葉脈、葉芽や葉裏の毛の有無等に違いがあります。以下写真で見てください。



ツバキ(左): 雄蕊は筒状
サザンカ(右): 離生し雄蕊は分離



日に透かすとサザンカ(上)の葉脈は黒く、ツバキ(下)は白く透過



サザンカ(上)の若芽は
ツバキ(下)よりも毛深い



サザンカの花後
子房の周りは毛で覆われている